

私たちを はぐくみ 育ててくれる 母なる大地 夜久野町

夜久野自治会だより

第37号

平成28年
新春号

さるとし

私たちは申年生まれです。今年もがんばるぞ!!



(夜久野学園にて)

おもな内容

- 連合自治会の
10年を振り返る 2・3
- 夜久野のみらいを語る集い 4・5
- 夜久野創生会議だより 6
- 輝く夜久野の子どもたち 7
- まごころ銀行(ふるさと基金) 8

連合自治会の10年を振り返る

平成十八年一月一日、一市三町が合併して新しい福知山市が誕生しました。その年の七月に夜久野町連合自治会は創設されました。そして今日までの十年間、夜久野全域で協力して住みやすい夜久野を作るための住民自治組織として、様々な課題に取り組み、数々の成果をあげてきました。ここで、その十年の歩みを振り返り特徴的な取り組みについて紹介いたします。

18年～19年「地デジ」難視聴対策

五年後に地上デジタル放送に切り替わるにあたっての整備事業において、難視聴地域（夜久野では八十七%の世帯が該当）が一世帯あたりの負担額があまりにも高額であったことから、説明会の開催や署名による申し入れ等の活動を展開。その結果、負担額の見直しが実現。加入金が当初の十五万八千円から三万九千円に、また、月額利用料も千円から五百円へと軽減されました。

18年～自主防災組織づくり

合併初年度から、「自治会だより」紙面での防災に関する啓発を始め、自主防災組織結成促進をはかってきました。現在、結成率は七割を超えました。

19年～「鶏舎」建設問題

夜久野高原で進められていた鶏舎の建設計画が実現しないよう、全世帯からの署名をもとに福知山市長に要望書を提出。兵庫県近隣地区（白井地区、金浦地区）とも連携しました。朝来市、福知山市、両市の住民代表者による四者協議を実施、その後も粘り強く交渉を進めました。平成二十八年一月現在、鶏舎の建設は実施されていません。



現在の土地の状況



初期消火訓練

コンピューター会計
衣川憲治税理士事務所
税理士 衣川憲治

《電子申告・e-Tax》

福知山市昭和新町206-2 I&Iビル2F
TEL 25-3711 FAX 25-3708
(自宅 夜久野町額田1030-3)

20年～25年「明日の夜久野教育を考える会」

発足の翌年二月に、要望書「過疎・少子化に立ち向かう夜久野の学校教育の再構築について」を市長に提出。連合自治会をはじめ、学校・保育園関係者、保護者、社会教育・福祉関係者等の幅広い立場から学習と協議が進められました。要望の中核であった小中一貫校夜久野学園が、平成二十五年開校。学校と地域が連携しながらよりよい教育と地域づくりを進め、現在に至っています。

26年「玄武岩公園」京都府景観資産として登録

小倉自治会が、福知山市や京都府と協議・現地見学・学習会を重ね、十二月十八日に登録証の交付を受けました。

平成十七年に京都府の天然記念物にも指定されており、地質学的にも価値の高い美しい柱状・板状節理です。また、自然がおりなす豊かな四季折々の姿も美しく、広くPRすることで、観光スポットとして期待が持てます。



玄武岩公園



夜久野学園

27年「夜久野みらいまちづくり協議会」設立

一年間の準備期間を経て、七月十四日に設立。前年実施の「1000人ミーティング」や自治会アンケートをもとに「夜久野みらいまちづくりビジョン2024」を作成。現在、「経済活性化」「定住・交流促進」「教育・文化・スポーツ」「福祉・あんしん」の四つの部会が、毎月会合を持ち、ビジョンの具現化に向けて白熱した協議を行っています。



地域社会の環境
と自然を守る！



株式会社クリア

京都府福知山市夜久野町額田373番地
TEL (0773)37-0304

語る集い を考える～

参加者120人！
おおいに語り合う！

「語る集い」が開催されました。

高等学校生徒による「TAN(丹後)TAN(丹波)見本市」の取り組み、あった後、研修室等の部屋に分かれて、5～6人の小グループで意見交めました。昨年実施の「100人ミーティング」を大きく上回る参加者数

【第1部】全体会

【地域活性化策発表】

「夜久野未来予想図」



夜久野学園 8 年生

8 年生全員がグループごとに、「歴史」「温泉」「ジビエ料理」「農業」「自然」をテーマに“まちおこし”案を発表。



【地域活性化実践発表】

「TAN(丹後)TAN(丹波)見本市」 府立大江高等学校生徒



【開会挨拶】
尾上繁数会長



【講演】「若い世代が“地域づくり”
について考える意義」
成美大学 中尾誠二准教授



【部会活動中間報告】
「やくの創生会議」
4つの部会の部会長がそれぞれ
半年間の活動をアピールしました。



【協議会の活動報告】
衣川裕次創生会議委員長

西垣内科医院 院長 西垣 哲哉

37-0127 (FAX共用) 夜久野町額田森嶋

訪問看護 ハートケア

TEL 0773-37-0033

夜久野の未来を語り

～子どもたちとともに未来を

12月12日(日)、夜久野ふれあいプラザにおいて、「夜久野の未来を語り」夜久野学園8年生による地域活性化策「夜久野未来予想図」、府立大江夜久野みらいまちづくり協議会の活動報告などを、ホールを会場に発表しました。郷づくりへの熱い思いを、年齢を超えて語りあい、交流を深め、熱気で、大いに盛り上がりました。

【第3部】全体会



「グループ交流タイム」で話された内容と感想を発表しました。



【閉会挨拶】
荒木光雅副会長

【第2部】グループ交流タイム

5～6人が1グループで、『旧小学校の活用方法』『夜久野の魅力』など多彩なテーマで、楽しく和やかに真剣に話し合いました。



初対面の自己紹介から始めましたが、次第に打ち解けて話がはずみました。



中学生、高校生、大人が世代を越えて大いに語り合いました。

燃料油 潤滑油 (有)藤本石油夜久野給油所

〒629-1311 京都府福知山市夜久野町日置1104
TEL (0773)37-0805 FAX 37-1170

夜久野土木企業組合

福知山市夜久野町板生2697-2
TEL 0773-38-0860 理事長 中村 敏昭

夜久野みらいまちづくり協議会 やぐの創生会議だより

昨年は、地域の皆様の貴重なご意見を、多数頂いた課題を取りまとめ、夜久野の未来に向けたビジョンをつくり上げることにより専念した年でした。

お陰さまで、皆様方の大きな理解とご協力のもと、昨年七月に夜久野の未来ビジョンが完成しました。改めて感謝申し上げます。

現在、創生会議の各部会単位で、私たちが「出来ること」からテーマを絞り、協議・研修を重ねているところです。

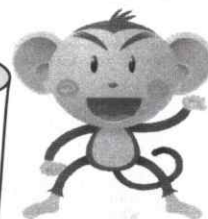
平成二十八年は、ビジョンを一步でも前進させるため、具現化に向けたアクションプランの年にして行きたいと思っています。この創生会議は、住民の皆様が中心となって活動する組織であり、共に知恵を出し合う楽しい場でもあります。

一人でも多くの方に参加して頂き、よりよいまちづくりが出来る事を願っています。



やぐの創生会議
委員長 衣川 裕次

あけましておめでとうございます 2016 アクションプランの年へ



今年はこの様な活動を目指します

経済活性化部会

夜久野みらいまちづくりビジョンの大テーマ「住んでよかったこのまちに」と誇れる夜久野にしましょう。そのために今年は、例えば特産振興、農匠の郷の活性、林産加工など経済活性化に向けた具体的な活動テーマを定め実行していきます。皆さま、楽しみにしていてください。そして、いろんなご意見もお聞かせください。



部会長
衣川 伸二

定住・交流促進部会

私たちの部会では、定住・移住への対策として、まず夜久野地域の空き家、空き地調査からはじめました。今年は、この調査をもとに福知山市の「空き家情報バンク」への登録推進、さらには定住・移住・交流の促進につながる活動をします。これらについては、他の部会とも関連しており、うまく連携を図りたいと考えています。



部会長
衣川 修平

教育・文化・スポーツ部会

私たちの部会では、各地域に伝わる伝統的な行事などを継承する手だて等を協議することを通して、ふるさと夜久野の貴重な財産を未来につなげたいと考えています。また、人と人との温かなつながりをはぐくむために、「あいさつ運動」を引き続き行います。みなさんと元気な挨拶で交流したいと思っていますので、ご協力よろしくお願いします。



部会長
小田垣 裕一

福祉・あんしん部会

私たちの部会では、福祉や安全面に關わって、地域や所属する団体の中で感じている問題点や課題について話し合いから進めました。高齢者や介護が必要な方への地域での支援・見守り（地域での助け合い）や、交通安全・防犯の取り組み、広報の活用の方等、市や諸機関と連携を図りつつ、地域の課題に向け団体の枠を越えたチーム体制で取り組みます。



部会長
白髭 順

上田自動車整備工場

(各種自動車販売・車検)

福知山市夜久野町平野327 TEL 38-0033

山田通信建設株式会社

福知山市夜久野町板生357番地

TEL 0773-38-0322 代表取締役 山田 卓夫

輝く夜久野の子どもたち

四年生では、「地元の産業について調べ、体験することで人の生活のために自分ができることを考え、深める。」というめあてで総合的な学習の時間の勉強をしています。



7月10日
木と漆の館にて漆の
絵付け体験
「乾かしていただいで、
学園に届けていただく
のが楽しみ！」



アイで切れ目を入れて
樹液がどろっと出てきた
ときは嬉しかった。

7月7日
日置の漆畑で漆かき体験
「DVDを見て、学習し
ていましたが、やって
みると難しい！」

夜久野学園 4年「総合的な学習の時間」～受け継ごう伝統文化～



日に当たる方に
根っこが向くように
植えるんだね。

11月19日
梅谷の漆畑にて 漆の植樹
「10年後、私たちが成人した頃に
立派に成長した木に逢いたいな」

一学期からNPO
丹波漆の岡本義明さ
んに夜久野の伝統文
化について教えてい
ただいています。塗
りのバス見学もしま
した。

下夜久野保育園

「夜久野大好き 元気な子どもたち」

下夜久野保育園は、園児46名で毎日楽しく賑やかにいろいろな事に取り組んでいます。季節を体で感じる散歩、体力づくりのマラソンや体操、ふれあい遊びなどを様々な体験を継続する事で頑張る力を育てています。



異年齢交流を日々の保育の中で取り入れることで自然にやさしい気持ちや育ち、小さい子をいたわる心や自分のことや相手のことを思いやる心が育っています。また食育活動にも力を入れています。保育園の畑に季節のもの育てて収穫したり、地域の方からいただいた野菜を年齢に応じたクッキングの中に取り入れたりして食への関心を高め食の大切さを日々知らせています。

地域の方々からもたくさん声をかけていただいています。地域の方の畑に行かせてもらい、苗植えをしたり、収穫の時期には声をかけてもらいみんなで収穫に行ったりしています。収穫させてもらった野菜は給食やおやつ

のメニューに入れおいしくいただいています。地域の皆様の温かさを本当にありがたく思っています。

また額田まつりの前日には、みこしをかつ



いで保育園近辺を練り歩きました。「わっしょい！わっしょい！」の声を聞きつけて、お仕事の手を止め手拍子をしていただき、より一層元気がでてきたみんなでした。



「だし」づくりでは、季節ならではの野菜や自然物を使って「ジオジオのかんむり」をテーマにみんなで力を合わせて制作に取り組みました。一歳児から五歳児まで自分たちが出来ることに一生懸命頑張る、仕上げる事ができました。地域の方の御好意で制作に必要な野菜をいただいたり、場所をお借りしたりして、みなさんに観てもらいました。足を止めて観てくださる方も多かったですと聞き本当に嬉しかったです。

小さい時から多くの方に見守られ愛される経験は大きくなってきくと子ども達の心に残るものだと思います。自分の事が好きになれる子は、相手の事も好きになつてくれると願い、毎日保育をしています。今後も様々な方との交流を大切にしたい。地域に開かれた保育園、そして夜久野に育つてよかったと大きくなって自信を持って言える子に育ってほしい。日々の保育にあたりたいと思います。今後も地域の皆様のお力添えをよろしくお願い致します。

協議会のマークが誕生しました

昨年、10月末で公募しました結果、数点の応募があり、協議のうえ下記のマークを採用しました。ご協力ありがとうございました。

全体 旧夜久野町町章の面影を残しました

夜久野みらいまちづくり協議会

夜久野の未来を
ひっかけ ぶらさげ
支えて行きます

やくの創生会議

MIRAI MACHI
YAKUNO 2024

これまでの夜久野を
突き破り新風が突き
ぬけます

みらいへの新風

新風をみんなで取り
囲み進化・サイクルを
起こします

熱い活動



M…未来 (MIRAI) C…協議会 (Conference)
M…まち (MACHI) 三本線…上・中・下地域

ビジョンが反映！
待望のスーパー誕生へ
一歩前進します。

イメージ店舗図



旧夜久野町役場跡地

夜久野町の人口は 平成27年12月末日現在

☆人	口	3,681人	(-103人)
(男)		1,752人	(-37人)
(女)		1,995人	(-66人)
☆世帯数		1,575戸	(-15)
		()内は昨年同期	

(市人口統計表による)

ふるさと基金

まごころ銀行

篤志ありがとうございました。

☆平成二十七年六月

亡天供養 小嶋幸恵様 様(西の谷)

☆平成二十七年十一月

亡祖母供養 安橋 日出男 様(今西)

亡父供養 田中 秀樹 様(水坂)

亡父供養 的場 剛 様(高内)

☆平成二十七年十二月

亡母供養 桑原 秀行 様(羽白)

亡母供養 安達 賢治 様(上原)

編集後記

二〇一六年「申年」が新しくスタートしました。

今年で「合併」10年が経過、本号は、その10年間の歩みや、これからの夜久野の未来づくりを取り上げていきます。

私たちの住む夜久野地域は、少子高齢化・人口減少が一層進む中、それぞれの自治会や連合自治会だけでは解決が困難な課題が多く生じています。このような状況において、安心・安全で住みよい町にするため、約一年余りの準備委員による準備を進め、昨年七月に「夜久野みらいまちづくり協議会」が設立されました。

今年、この「まちづくり協議会」の活動を今まで以上に皆様に理解して頂き、地域活性化の一翼を担うことを願いたいと思います。又、自治会だよりの編集委員に携わり、発行に向けての苦労が分かったのと同時に、これまでは夜久野全体のことに関して知らないことが多々ありましたが、多様多様な会合、催し物に出席参加することにより自分自身の見聞を広めていくことが大切であると痛切に感じました。

今年も夜久野町自治会活動と本誌への温かい御支援とご協力をお願いすると共に、本年がより良い年となりますよう心から祈念致します。